



ポール・セザンヌ (1839-1906)、「カード遊びをする人々」
© RMN-GRAND PALAIS (MUSÉE D'ORSAY) / HERVÉ LEWANDOWSKI

2025年フランス新着情報
2024.12.23版

フランス観光開発機構



最新情報一覧

2024年

- 2024-25年冬 - ヨーロッパで最も高所に位置するワインバーがオープン（オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方 ヴァル・トランス）
- 2024年12月2日 - パリの屋根葺きと装飾職人の技術がユネスコ無形文化遺産に登録（イル・ド・フランス地方 パリ）
- 2024年12月4日 - ルーヴル・ランスの「時のギャラリー」が再オープン（オー・ド・フランス地方 ランス (Lens)）
- 2024年12月7日・8日 - パリ、ノートルダム大聖堂が一般公開を再開（イル・ド・フランス地方 パリ）
- 2024年末 - 5つ星ホテル メゾンアルパールホテルズ・ル・ヴィクトリアがオープン（プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方 ニース）
- 2024年12月 - パリ、ノートルダム大聖堂の新作ステンドグラス制作者が発表される（イル・ド・フランス地方 パリ）
- 2024 年末 - レーグル・デ・ネージュはエクスペリメンタル・シャレー・ヴァル・ディゼールに（オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方 ヴァル・ディゼール）
- 2024年～2025年 - マイナー・ホテル パリに4つ星ホテル3軒オープン（イル・ド・フランス パリ）
- 2024年～2025年 - マリオット、フランスで10軒の新規ホテルをオープンし事業規模を拡大（フランス全域）

2025年

- 2025年9月28日まで - ルーヴル美術館「対話する古代近東の遺物たち：メトロポリタン美術館展」（イル・ド・フランス パリ）
- 2025年1月2日～ - パリ市内のメトロおよびRER 2.50ユーロの片道乗車券が導入予定（イル・ド・フランス パリ）
- Vendée Globe（2024年11月10日にレ・サブル・ドロヌヌから出発）、最も早いスキッパーの帰還は2025年1月予定
- 2025年3月7日 - モーリス・ラヴェル生誕150周年記念
- 2025年3月 - プライベート空間のあるコリビング施設がモンペリエにオープン（オクシタニー地方 モンペリエ）
- 2025年4月～12月 - ナンシーでアール・デコ100周年を祝うイベント「メトロフォーリー」開催（グラン・テスト地方 ナンシー）
- 2025年4月6日 - コルシカの愛国的指導者、パスカル・パオリ生誕300年
- 2025年4月12日 - ジョセフィン・ベーカー没後50周年
- 2025年4月14日～19日 - スキー愛好者必見の新しいイベント「メガベルコース」（オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方 ラ・プラーニュ）
- 2025年5月8日 - ヨーロッパ戦勝記念日（VEデー）80周年
- 2025年5月11日 - 「サン・ナゼール・ポケット」解放80周年記念（ペイ・ド・ラ・ロワール地方 サン・ナゼール）
- 2025年春 - セザンヌの旧居とアトリエが再オープン（プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方 エクス・アン・プロヴァンス）
- 2025年6月 - 4つ星ホテル ア・マンドリア オープン予定（コルシカ島 ドメーヌ・ドゥ・ミュルトリ）
- 2025年7月1日 - エリック・サティ没後100周年
- 2025年7月4日～13日 - 大型帆船レース「トールシップレース 2025」（ノルマンディー地方 ル・アーブル & オー・ド・フランス地方 ダンケルク）
- 2025年7月5日 - ツール・ド・フランス2025はフランス北部のリールで開幕（オー・ド・フランス地方 リール）
- 2025年7月13日～20日 - 六年に一度の大トロメニー（ブルターニュ地方 ロクロナン）
- 2025年7月26日 - ツール・ド・フランス・ファミ・アヴェック・ズイフト 2025 グラン・デパールはヴァンヌ（ブルターニュ地方）
- 2025年8月25日～31日 - BWFバドミントン世界選手権2025（イル・ド・フランス パリ）
- 2025年夏 - ミス・フランス博物館オープン（プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方 サン・ラファエル）
- 2025年夏 - 標高1,900mのエコレストラン L'Art des Mets オープン（オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方 ヴァル・ディゼール）
- 2025年11月6日 - シャルル・ガルニエ生誕200周年
- 2025年後半 - 97%リサイクル可能なTGV M 運行開始予定
- 2025年末 - トゥールーズのオーギュスタン美術館が再オープン（オクシタニー地方 トゥールーズ）



最新情報一覧

- 2025年 - カーン・ミレニウム（ノルマンディー地方 カーン）
- 2025年 - カルティエ財団、40周年を迎えルーヴル・サントノレビルに新しいアートミュージアムをオープン（イル・ド・フランス パリ）
- 2025年 - サン・ジャック門の修復完了と再オープン（ヌーヴェル・アキテーヌ地方 コニャック）
- 2025年 - 世界初のユービーアイソフト・エンターテインメント・センター（オクシタニー地方 ベジエ）
- 2025年 - サイクリングロード「ロワール・ア・ヴェロ」20周年（サントル・ヴァル・ド・ロワール&ペイ・ド・ラ・ロワール）
- 2025年 - モントルイユ・ベレ城1000周年（ペイ・ド・ラ・ロワール地方 ソミュール近郊）
- 2025年 - シャンパーニュの丘陵、メゾンとカーヴ ユネスコ世界遺産登録10周年（グラン・テスト地方 シャンパーニュ）
- 2025年 - 「フランスの美食」ユネスコ無形文化遺産登録15周年
- 2025年 - オッコー・ホテルズ、環境認証を取得した新ホテルをオープン（グラン・テスト地方 トロワ）
- 2025年 - アルフレッド・ホテルズ、フランスで4軒の新ホテルをオープン予定
- 2025年 - 5つ星ホテル ケンピンスキー コート・ダジュールにオープン（プロヴァンス・アルプ・コートダジュール カップ・ダイユ）
- 2025年 - オトカー・コレクション ヴィラ・ラ・ゲティエールをオープン（プロヴァンス・アルプ・コートダジュール カップ・ダンティエール）

2026年

- 2026年 - ジャコメッティ美術館が旧アンヴァリッド駅に移転予定
- 2026年 - サン・クルーの旧兵舎にルイ14世時代美術館が開館予定
- 2026年 - 世界最大のビデオゲーム博物館「オデッセイ」がセーヌ・エ・マルヌにオープン予定
- 2026年 - 欧州水泳選手権がオリンピックの後を引き継いでパリ・サン・ドニで開催予定
- 2026年 - パリのシャンゼリゼ通りにルイ・ヴィトン初のホテルがオープン予定
- 2026年 - ラディソン・ブル ホテルがパリの新しい複合施設「トライアングル・プロジェクト」に参加予定



文化と伝統

ルーヴル・ランスの「時のギャラリー」が再オープン
イル・ド・フランス地方 ランス (Lens)
2024年12月4日

ルーヴル美術館の初の別館として、フランス北部の炭鉱の町ランス (Lens) に2012年に開館したルーヴル・ランス **Louvre-Lens** は、北フランスが誇る文化的至宝です。設計は日本人建築家ユニットであるSANAAが担当。2024年12月、当美術館の主要展示スペースである「時のギャラリー」が開館以来初めての全面改装を経て再オープンします。クリスマス前にすべての来館者を無料で迎え入れるこのギャラリーは、芸術と文化を身近にするという美術館の取り組みを体現しています。パリのルーヴル美術館から貸し出された443点の作品を含む、芸術と人文科学の5,000年の歴史を時系列的に一望できるユニークな展示空間となっています。12月7日と8日には、花火、独創的なガイド付きツアー、創作ワークショップ、ダンスパフォーマンスなど、週末を通じて再オープンを祝うイベントが開催されました。

▶ [プレス資料 \(英\) \(仏\)](#)

セザンヌの旧居とアトリエが再オープン
プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方
エクス・アン・プロヴァンス
2025年春

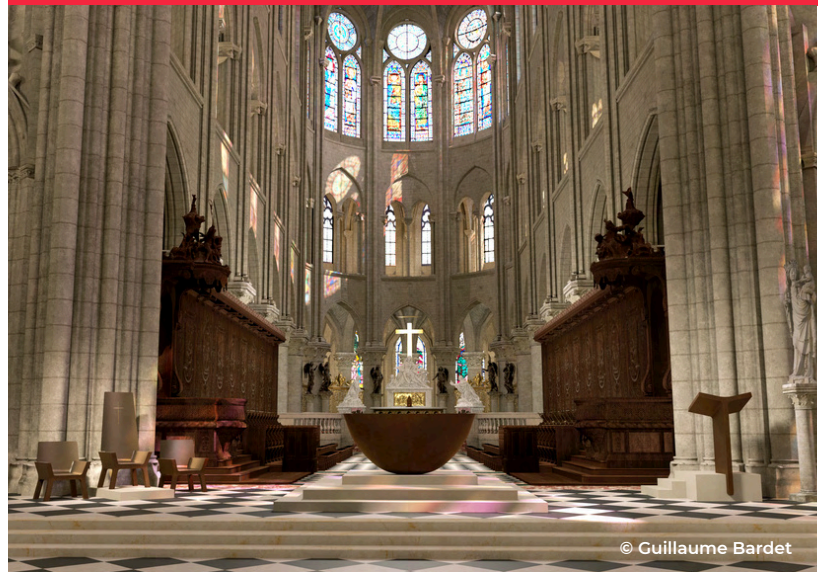
セザンヌの故郷であるエクス・アン・プロヴァンス Aix-en-Provenceでは、2025年にセザンヌを称える一大イベントが予定されています。まずは、グラネ美術館で開かれる大回顧展「ジャズ・ド・ブファンのセザンヌ」(2025年6月28日~10月12日)では、画家が40年近く暮らした郊外の地ジャズ・ド・ブファンに焦点を当てます。そして、その家も大々的な修復を経て一般公開を再開します。ここは、創作の拠点であり、セザンヌが最初の作品を描いた場所でした。ガイドツアーでは、この場所がセザンヌにとってどのような意味を持っていたかが紹介されます。また、50点に及ぶ油彩や水彩画に描かれたセザンヌお気に入りの風景もこの家で展示されます。エクスに滞在中は、セザンヌが絵を描いていたビベムスの採石場 Carrières de Bibémus もお見逃しなく。近代絵画の父と称されるセザンヌの人生と創作の軌跡が刻まれた街並みも散策することができます。

▶ [Cezanne 2025特設サイト \(英\)](#)

ノートルダム大聖堂が一般向けに公開を再開
イル・ド・フランス パリ
2024年12月7日および8日

火災によって尖塔や屋根が焼け落ちるなど壊滅的な被害を受けてから5年半が経ち、パリのノートルダム大聖堂が2024年12月8日ようやく一般公開を再開します。12月7日の公式落成式では、オルガンによる「目覚め」の演奏や「マニフィカト Magnificat」「テ・デウム Te Deum」、晩祷を含む祝典が行われます。8日には初ミサが行われ、祭壇の奉献も予定されています。修復は建築家フィリップ・ヴィルヌーヴ Philippe Villeneuve が担当し、大聖堂を元通りに再建する方針で、尖塔も含めて復元されます。大聖堂前広場とその周辺の再整備の最終完成は2027年、ステンドグラスはその前年の2026年に完了する予定です。典礼調度品や祭具、祭服を新しい解釈でデザインしたアーティストや職人の仕事にもご注目を。

▶ [プレス資料 \(日本語\)](#)



© Guillaume Bardet

ミス・フランス博物館オープン
プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方 サン・ラファエル
2025年夏

フランスで最も長く続く全国規模の美の祭典のひとつである「ミス・フランス」の歴史が、コート・ダジュールの華やかな街サン・ラファエル Saint-Raphaël の博物館で展示されることになりました。サン・ラファエルのフレデリック・マスケリエ市長とミス・フランス協会は、優雅なベル・エポック様式の邸宅に**ミス・フランス博物館 Musée Miss France** を2025年にオープンすることを発表しました。来館者はミス・フランスの歴史を辿る旅を楽しむことができます。展示には、数十年にわたる候補者たちが着用した100点以上のユニークな衣装、優勝者のティアラ、絵画、そして必見の瞬間を収めた映像などが含まれています。なお、サン・ラファエルは、1953年にデニス・ペリエ Denise Perrier がミス・ワールドのタイトルを獲得した地でもあります。



© photo Michel Fraisset



文化と伝統

ルーヴル美術館

「対話する古代近東の遺物たち：メトロポリタン美術館展」
イル・ド・フランス パリ
2025年9月28日まで

パリ・ルーヴル美術館では、古代近東美術部門がニューヨークのメトロポリタン美術館 Metropolitan Museum of Art (The Met) の古代近東美術部門から、10点の重要な作品を特別に展示しています。この展示は、メトロポリタン美術館の同部門が現在改修中であることを受けて実現しました。これらの特別展示作品は、紀元前4千年紀後半から紀元5世紀にかけて制作されたもので、中央アジア、シリア、イラン、メソポタミアを代表しています。ルーヴルのコレクションと共に展示されることで、それぞれの遺物が持つ驚くべきつながりや背景が再び来館者に紹介されます。

▶ [対話する古代近東の遺物たち：メトロポリタン美術館展](#)



©ADOBESTOCK-MASTERVLAD

トゥールーズのオーギュスタン美術館が再オープン オクシタニー地方 トゥールーズ 2025年末

14世紀に建設された修道院を基にした**オーギュスタン美術館 Musée des Augustins de Toulouse** は、これまでに多くの変遷を遂げてきましたが、今回の改修工事では、構造上の問題を解決し、新たな文化的ニーズに対応することを目的としています。2021年からいくつかの段階に分けて考古学的発掘が進められ、ゴシック様式のホールや教会、絵画サロンの内部配置が再構築されました。新しい受付棟は壮麗でアクセスがしやすい造りとなり、再整備された前庭とともに、建物と周辺環境とのつながりを一新します。美術館は2025年末に再オープンする予定です。

▶ [オーギュスタン美術館](#)



@virginie

カーン・ミレニアム ノルマンディー地方 カーン 2025年

カーン Caen は2025年に1,000年の歴史を祝います！地元の住民やノルマンディーの人々、そして訪問者が一堂に会し、この記念すべき節目を祝うため、芸術や文化を中心とした豊富なイベントプログラムが用意されています。「**カーン・ミレニアム Caen Millennium**」は、カーンの個性を形作る文化、芸術、科学、研究、経済といったさまざまな分野を称え、今のカーンを支える住民、市民団体、地方自治体、機関、企業などを結びつけるイベントです。盛大な祝祭ムードの中、このミレニアムがカーンの歴史に新たな章を刻むことでしょう。

▶ [カーン・ミレニアム](#)



©Vincent Leroy



文化と伝統

サン・ジャック門の修復完了と再オープン
ヌーヴェル・アキテーヌ地方 コニャック
2025年

コニャックの歴史的な要塞門であるサン・ジャック門 **Porte Saint Jacques** は12世紀に遡り、街の西に位置し、シャラント川を越える交通を管理する役割を果たしてきました。この門は、商業、貿易、防衛において街で重要な位置を占めており、これまで幾度も建築的変遷を経てきました。その修復が2025年に完了し、再び一般公開される予定です。それまでの間、見学ツアー「工場の舞台裏 *Coulisses du Chantier*」が開催されており、5ユーロの寄付で修復プロジェクトに貢献することができます。コニャックの街は、周辺地域の探索や蒸留期間中のワイン醸造家やコニャックの製造所訪問を始めるのに理想的な出発点です。

▶ コニャック観光局 *Destination Cognac*



©ADOBESTOCK-PHILIPPE PRUDHOMME



©ADOBESTOCK-ALEX TIRONOV

世界初のユービーアイソフト・エンターテインメント・センター
オクシタニー地方 ベジエ
2025年

「アサシンクリード」などで知られるフランスの大手ゲーム開発会社ユービーアイソフト Ubisoftとストーリーランドスタジオ Storyland Studiosは、スタジオ・オクシタニー・メディテラネ Studios Occitanie Méditerranéeに世界初の **ユービーアイソフト・エンターテインメント・センター *Ubisoft Entertainment Center***を開発することを発表しました。このマルチブランドのテーマ型エンターテインメント施設は、ユービーアイソフトの人気ゲームシリーズをテーマにした完全インタラクティブ体験を提供する初の施設で、没入型体験ができる内容となっています。フランスの地中海沿岸に位置するベジエ Béziersは、モンペリエから車で約40分の距離にあり、88ヘクタールの複合開発エリアには、本格的な映画スタジオや多様なエンターテインメント施設、さらには小売店、飲食店、宿泊施設も完備されています。

カルティエ財団、40周年を迎えルーヴル・サントノレビルに
新しいアートミュージアムをオープン
イル・ド・フランス パリ
2025年

カルティエ財団現代美術館 *Fondation Cartier*は、パリのパレ・ロワイヤル広場に位置するルーヴル古代美術館 Musée du Louvre - Galerie des Antiquités Parisに移転し、2025年に新しいアートミュージアムとして一般公開を開始します。この建物は、1994年に現在のラスパイユ通りの拠点設計したジャン・ヌーヴェル Jean Nouvelによって改装されました。現在のカルティエ財団のガラスと鋼で作られた印象的な現代建築とは対照的に、新しい場所はクラシックなオスマン様式の建物で、1855年には5つ星ホテルとして開業し、1863年にはデパートに改装されました。1978年以降は「ル・ルーヴル・デ・ザンティケール *Louvre des Antiquaires*」として知られ、数百の骨董品店やギャラリーが入居しています。



©ADOBESTOCK-BRUNO BLEU



文化と伝統

2024 12 2

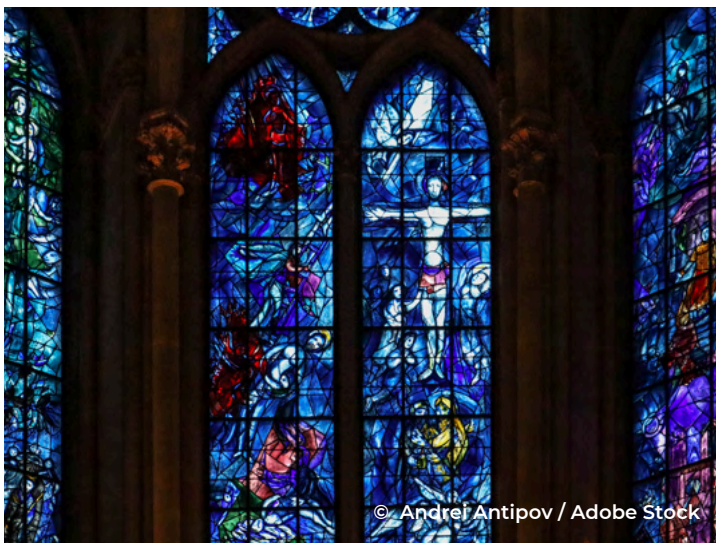
パリの景観を形作るひとつである青みがかったグレーの屋根。この鉛の屋根材は1853年～1870年まで、ナポレオン3世の命を受けてオスマン知事が実施したパリ都市計画で取り入れられたもので、耐久性が良く安価で、しかも美観の良さから採用されたのでした。

パリの屋根をユネスコ無形文化遺産に登録しようとする動きは2014年から見られたものの、2022年にはバゲット（フランスパン）にその地位を譲り、2024年12月2日ようやく登録が叶ったという経緯があります。

パリを舞台とする映画やドラマの中では、ぜひ屋根の美しさとその装飾性にご注目ください。



© franz massard / Adobe Stock



© Andrei Antipov / Adobe Stock



パリ・ノートルダム大聖堂の 新作ステンドグラスの制作者が決定 2024年12月

火災で損傷したパリのノートルダム大聖堂は、修復を機に現代性を表すものとして、新たなステンドグラスの発注が決まっていたが、2024年12月18日にコンペの結果として、フランス人アーティスト、クレール・タブレ Claire Tabouretと、ランス Reimsのステンドグラス工房アトリエ・シモン＝マルクの協業で製作すると発表されました。

ランスのステンドグラス工房、「アトリエ・シモン＝マルク」は1640年からの匠の技を受け継ぐガラスのスペシャリスト。フランスで最も歴史あるステンドグラス工房のひとつで、伝統的なステンドグラスの修復、宗教を題材にしたステンドグラスの製作の他、モダンな絵柄の新作も制作しています。有名作家とのコラボが多く、とくにシャガールがランス大聖堂やメッセ大聖堂のためにデザインしたステンドグラス、ランスのチャペル・フジタのステンドグラスを手掛けたことで知られます。

工房はランス内のサクレ・クール Sacré-Coeur 教会の中に拠点を移し、最近では15人以下の小グループでアトリエ見学もできるようになりました。このアトリエとランス大聖堂を併せて見学するコースもランス観光局が提供しており、ステンドグラス制作の歴史や技術のすべてを身近に知ることができます。

▶ [アトリエ・シモン＝マルク](#)



周年行事

サイクリングロード「ロワール・ア・ヴェロ」20周年
サントル・ヴァル・ド・ロワール & ペイ・ド・ラ・ロワール
2025年

ロワール渓谷を通り抜ける全長900kmのサイクリングルート **ロワール・ア・ヴェロ Loire à Vélo** は、開設から20周年を迎えます。このルートはヨーロッパのサイクリング・ルートであるユーロヴェロ6号線 EuroVelo 6 (EV6) の西端にあたり、その多くはユネスコ世界遺産にも登録されているエリアを通ります。フランス最後の大河であるロワール川の砂浜や島々、ブドウ畑、絵のように美しい町や村々、美食やワインを楽しめるスポットが点在し、ルートはロワール川の大西洋河口まで続きます。また、サイクリストに優しいアキュ・ヴェロ Accueil Vélo の施設が5km圏内に700カ所以上あり、夏季には自転車を持ち込める列車も運行されています。

モーリス・ラヴェル生誕150周年記念
2025年3月7日

バスク地方のサン・ジャン・ド・リュズ St-Jean-de-Luz 近郊で生まれたモーリス・ラヴェル Maurice Ravel (1875-1937) は、20世紀の最も優れた作曲家の一人として知られています。個性的で型破りな音楽を作るエリック・サティと父の紹介で出会い、その影響を受け、ガブリエル・フォーレのもとで学びました。代表作には「ボレロ」「ダフニスとクロエ」「亡き王女のためのパヴァーヌ」などがあります。パリ近郊のモンフォール・ラモーリー Montfort-l'Amaury にあるラヴェルの記念館 **Maison-musée Maurice Ravel** は、予約制でガイド付きの見学が可能です。



コルシカの愛国的指導者、パスカル・パオリ生誕300年
2025年4月6日

1755年、コルシカの愛国者であり指導者パスカル・パオリ Pascal Paoli (1725-1807) は、5世紀にわたるジェノヴァの支配からの独立を宣言しました。この著名な指導者はコルシカに民主的な憲法を制定し、島に大学を創設しました。コルシカの人々からは「U Babbu di a Patria」(国父)と呼ばれています。彼の生地であるポンテ・レッチャ Ponte-Leccia の近くにある **パスカル・パオリ博物館 Musée Pascal-Paoli** は、フランスの政治・社会・文化史の重要人物を称えるラベル「メゾン・デ・イリュストル Maison des Illustres」を授与されています。



ジョセフィン・ベーカー没後50周年
2025年4月12日

ジョセフィン・ベーカー Josephine Baker (1906-1975) は、アメリカ出身のダンサー、歌手、女優、そして公民権運動家で、フランスで名声を得た人物です。舞台での成功だけでなく、彼女は人種平等のために積極的に活動し、第二次世界大戦中にはフランスのレジスタンスにも参加しました。1975年4月、ボビノ劇場 Théâtre Bobino で最後の公演を行った数日後に亡くなり、パリの街には彼女の葬列を見送るために2万人以上が集まりました。彼女はフランス軍の名誉を受けた初のアメリカ人女性であり、またパリのパンテオン Panthéon に埋葬された初の黒人女性でもあります。彼女が住んでいたドルドーニュ Dordogne の15世紀の **ミランド城 Château des Milandes** は、現在見学が可能で、美しい庭園も併設されています。

ヨーロッパ戦勝記念日 (VEデー) 80周年
2025年5月8日

2024年6月のノルマンディー上陸作戦80周年記念行事に続き、ヨーロッパ戦勝記念日 (VEデー) 80周年の祝賀行事が行われます。これは1945年5月8日にヨーロッパでの戦争、ひいては第二次世界大戦の終結を記念するものです。降伏文書が調印されたランスで記念式典が開催される予定です。





周年行事

「サン・ナゼール・ポケット」解放80周年記念
ペイ・ド・ラ・ロワール地方 サン・ナゼール
2025年5月11日

1944年夏、ドイツ軍がヴィレヌ川とポルニック川の間で前線を構築し、1,800平方キロメートルの「**サン・ナゼール・ポケット la Poche de Saint-Nazaire**」と呼ばれるエリアに12万4千人の市民を閉じ込めました。フランス全土が解放される中、サン・ナゼール地域の住民はその後9か月にわたり、爆撃や厳しい食糧不足、電力のない生活を強いられました。1945年5月11日のドイツ降伏によって「サン・ナゼール・ポケット」が正式に解放され、フランス最後の解放地となりました。この80周年を記念して、さまざまなイベントが予定されています。5月10日には市庁舎で解放記念ダンスパーティー Bal des Empochés が行われ、市庁舎にはレジスタンス戦士たちの肖像が展示されます。また、7月13日には「解放」をテーマとした花火大会、6月から9月にかけて、潜水艦基地から文化センターに改装されたLiFEで「再建された都市（1945-1955-2025）」をテーマにした大規模な展示会が開催されます。

エリック・サティ没後100周年
2025年7月1日

ノルマンディー生まれのフランスの作曲家・ピアニスト、エリック・サティ Éric Satie (1866-1925) は、音楽界に消えない足跡を残しました。代表作「ジムノペディ」や「グノシエンヌ」など、彼の前衛的な作品は、ミニマリズムのスタイルや独自の和音で従来の音楽の枠を打ち破りました。晩年は画家たちと親交が深かった一方、作曲家ラヴェルやドビュッシーからも30年にわたる友情と深い敬意を寄せられていました。その影響はシュルレアリスムにまで及び、20世紀初頭のの前衛芸術運動を形作りました。サティが生まれた家であるオンフルールの「**メゾン・サティ Maison Satié**」では、音声ガイド付きの音楽散策ツアーを楽しむことができます。

シャルル・ガルニエ生誕200周年
2025年11月6日

シャルル・ガルニエ Charles Garnier (1825-1898) は、**パリ国立オペラ座の本拠地である象徴的なパリ・オペラ座（ガルニエ宮） Palais Garnier** を設計した著名な建築家です。その後、モナコ・モンテカルロのカジノ・ド・モンテカルロ Casino de Monte-Carlo のゲームルームとコンサートホール (1881年)、パリのリブリー・サークル Cercle de la librairie (1879年)、ヴィッテルのカジノ Casino de Vittel (1887年)、ニース天文台 Observatoire de Nice (1888年) などを手掛けました。彼の最後のプロジェクトは、エッフェル塔を設計したギュスターヴ・エッフェルとの協力で完成させた**パリ・オペラ座の大道具倉庫兼ワークショップ（ベルティエ通り Boulevard Berthier）** でした。パリ国立高等美術学校（エコール・デ・ボザール） École des Beaux-Arts で学んだガルニエの影響は建築物だけでなく、彼の著作を通じても今なお建築家たちにインスピレーションを与え続けています。



© ADOBESTOCK-PACKSHOT

モントルイユ・ベレ城1000周年
ペイ・ド・ラ・ロワール地方 ソミュール近郊
2025年

隠れた名城の一つであるロワール渓谷の **モントルイユ・ベレ Montreuil-Bellay 城** は、1025年にトゥエ川 Thouet のほとりに築かれました。600mに及ぶ壮大な城壁と塔に加え、ヴォールト（アーチ）型の広大な地下貯蔵庫や、赤・白・ロゼ・スパークリングワインを生産するワイン畑が特徴です。訪れる人々は、ルイ14世の反抗的な従姉妹、ロングヴィル公爵夫人 La Duchesse de Longueville が過ごした場所を歩き、ここで投獄されていた女性たちの苦しみや、第一次世界大戦中に1,000人の負傷兵が手当てを受けた歴史について学ぶことができます。また、モントルイユ・ベレイの村は「風格ある小さな街 Petite Cité de Caractère」に指定されており、ロワール・ア・ヴェロ Loire à Vélo やヴェロ・フランセット Vélo Francette のサイクリングルートが通っています。



© VINCENT DHETINE



周年行事

アール・デコ100周年 メトロフォリー MÉTRO'FOLIES 2025
グラン・テスト地方 ナンシー
2025年4月～12月



2025年は、1925年にパリで開催された**現代装飾美術・産業美術国際博覧会** l'Exposition internationale des arts décoratifs et industriels modernesから100年の節目にあたることから、ナンシー広域都市圏は2025年を「メトロフォリー MÉTRO'FOLIES 2025」として、アール・デコが興隆した1920年～1930年（狂乱の時代とも言われる）のライフスタイルに光を当てます。

アール・ヌーヴォーは装飾において自然を忠実に、時には華やかに再現した一方で、アール・デコでは、1920年代に形状を幾何学的に様式化する方向に転じ、1930年代には装飾性が徐々に消滅していきました。

1925年の博覧会に出展した150のパビリオンの中にはナンシーのパビリオンもあり、そこでは最も優れた芸術家や職人たちの卓越した技術が展示されました。これらの多くはナンシー派（École de Nancy）に由来するもので、彼らは、両大戦の期間に多くの傑作を生みだしました。

ナンシー美術館では「ナンシー1925」展を開催予定。この展覧会では、1925年の博覧会におけるナンシーおよびフランス東部のパビリオンについて、またその時代のナンシー都市圏での生活が紹介されます。

ナンシー派美術館では、ユージェン・コルバンと1920年代をテーマとした**特別展**が行われます。この展示では、コルバン旧邸宅の1920年代に建てられた一部（現在はナンシー派美術館となっている）を取り上げます。彼がどのようにしてアール・ヌーヴォーからアール・デコへとスタイルを移行させたのかが示されます。

[ナンシー観光局](#)（日本語）



© RÉGINE DATIN

大トロメニー祭 Grande Troménie
ブルターニュ地方 ロクロナン
2025年7月13日～20日

グランド・トロメニー（La Grande Troménie）は、ブルターニュ地方で最大級の宗教行列であり、6年に一度、7月の第2日曜日から第3日曜日にかけて開催されます。次回の開催は2025年7月13日から20日までの予定です。

この行列は、ケルト文化の聖地であるロクロナンの地で、ブルターニュの信仰を表現する重要なイベントとして根付いています。全長約12キロメートルの巡礼路には、12の花崗岩の十字架で示されたステーションと、42の小さな小屋が点在しています。各小屋には、木や石で彫られた古い聖人像が安置され、通常は教会や礼拝堂にあるこれらの像が、巡礼者と聖ロクロナンの遺物を迎えるためにここに集められます。

行列の前には、通過する道の麦やトウモロコシが刈り取られ、茨が取り除かれ、小川には仮設の橋が架けられるなど、巡礼者が安全に歩けるよう準備が整えられます。巡礼路は1週間にわたり開放され、その間、あらゆる年齢の人々が昼夜を問わず、この多彩な風景の中を歩きます。個人やグループで、自身のルーツを探したり、努力の中に救済を見出したり、スポーツ感覚で参加したりと、それぞれの目的でこの時間を過ごします。

トロメニーは、沈黙の中で行われる行列であり、参加者は各々の思いを胸に歩みます。その真髄を理解するためには、足音に耳を傾けることが大切です。このイベントは、地元住民にとって非常に重要であり、絆を深め、故郷を離れた人々が帰郷する機会ともなります。6年ごとに開催されるこの行事は、人生の節目を刻む灯台のような存在であり、子供時代、成長、成人、老いといった人生の歩みを振り返る機会を提供します。

なお、グランド・トロメニーが開催されない年には、毎年7月の第2日曜日に全長6キロメートルの「小トロメニー（Petite Troménie）」が行われます。

[ロクロナン観光局](#)



(C) DJJGIBODGI.COM



美食とワイン

ヨーロッパで最も高所に位置するワインバーがオープン オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方 ヴァル・トランス 2024-25年冬シーズン

標高3,200mのシム・ド・カロン Cime de Caron 山頂は近年大きな変貌を遂げ、2024-25年冬シーズンには、最新技術を活用した複合施設「Caron 3200」が**ヴァル・トランス Val Thorens**にオープンします。

地域開発のスペシャリストであるSETAM社が、山岳地での設備整備や訪問者の満足度向上の取り組みを進めました。この複合施設には130席のレストラン、ワインバー、ルーフトップやパノラマテラス、さらにイベントやセミナー用のスペースが完備されていて、シム・ド・カロンのこれまでの改修プロジェクトの集大成となっています。

▶ [ヴァル・トランス観光局](#)

シャンパーニュの丘陵、メゾンとカーヴ ユネスコ世界遺産登録10周年 グラン・テスト地方 シャンパーニュ 2025年

2025年、シャンパーニュ地方の「**シャンパーニュの丘陵、メゾンとカーヴ Coteaux, maisons et caves de Champagne**」は、ユネスコ世界遺産に登録されて10周年を迎えます。この世界遺産登録は、マルイユ・シュール・アイ Mareuil-sur-Aÿの歴史的な「キュミエールの丘陵 Coteaux de Cumières」、エペルネー Épernayの「シャンパーニュ大通り Avenue de Champagne」、ランス Reimsの「サン・ニケーズの丘 Colline Saint-Nicaise」の3つの中心エリアと、320の町や村を含んでいます。

祝賀イベントは年間を通じてシャンパーニュ地方全域で行われ、この美しい遺産がシャンパーニュの人々に誇りをもたらし、地域の国際的な知名度をさらに高めることを目指しています。

▶ [シャンパーニュの丘陵、メゾンとカーヴ](#)



ヴァル・トランス ©L.Brochot

「フランスの美食」ユネスコ無形文化遺産登録15周年 2025年

「フランスの美食（ガストロノミー） Le repas gastronomique des Français」は、重要な人生の瞬間を祝うための伝統的な社会的慣習として、2010年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

これには、増え続けるレシピの中から料理を選ぶ方法、地元産を中心とした質の高い素材の購入、料理とワインの見事なペアリング、テーブル・デコレーション、そして食事中的の独特の所作（食卓に供されるものを味わい、その香りを楽しむしぐさ）などが含まれます。フランスの美食体験は、明確な手順に従って進められます。アペリティフ（食前酒）から始まり、ディジェスティフ（食後酒）で締めくくられます。その間に、前菜、魚料理や肉料理に野菜、チーズ、デザートといった少なくとも4皿のコースが必要です。フランスの美食は、家族や友人との絆を深めるとともに、より広い社会的なつながりを強めます。



©ADOBESTOCK-ANASTASIIA



スポーツイベント

ヴァンデ・グローブ、最も早いスキッパーの帰還は2025年1月予定
ペイ・ド・ラ・ロワール地方 レ・サーブル・ドロンヌ
2024年11月～年2025年1月

2024年11月10日にレ・サーブル・ドロンヌから出発したヴァンデ・グローブ Vendée Globe。4年に一度開催される単独、無寄港、無支援のヨットレースで、「海のエベレスト」とも称されるほど苛酷なレースです。レーススタート時と同様、ゴール時にも、多くの方がレ・サーブル・ドロンヌの岸壁へ応援に駆け付けます。最も早いスキッパーの帰還は2025年1月を予定しており、その時期に再び、この大西洋の美しいリゾート地は賑わいを見せることでしょう。日本からは白石康次郎さんが参戦しています。

- ▶ [ヴァンデ・グローブ](#)
- ▶ [ヴァンデ県観光局プレス資料（日本語）](#)



スキー愛好者必見の新イベント

「メガベルコース」
オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方
ラ・プラーニュ
2025年4月14日～19日

イースターの時期に合わせて開催される春の新しいレースシリーズとして「ラ・メガベルコース La Mega Bell Course」がラ・プラーニュ La Plagne に登場します。「ベル」はイースターを意識したもので、このユニークな大会は、楽しさ、創造性、挑戦が融合した5つのユニークなレースで構成されており、経験豊富なスキーヤーでさえその腕前を試されることでしょう。

公式タイムだけではすべてが分からないので、予測不可能な展開が待っています。競技者はボーナスポイントを獲得したり、ペナルティを受けたり、巧みなショートカットを使ったりすることで、最後までドキドキ感を楽しむことができます。

競技者は土曜日に完全即興の予測不可能な展開を楽しむか、月曜日から金曜日までのタイムトライアルコースで練習する戦略を選択できます。

- ▶ [ラ・プラーニュ観光局](#)



大型帆船レース「トールシップレース 2025」
ノルマンディー地方 ル・アーブル & オー・ド・フランス地方 ダンケルク
2025年7月4日～13日

[トールシップレース2025 Tall Ships Races 2025](#) は、ヨーロッパ最大の無料ファミリーイベントとして知られ、2025年7月4日から7日までの3日間、ノルマンディー地方のル・アーブル Le Havre を起点に開催されます。壮大な50隻の帆船が集結し、7月10日にはオー・ド・フランス地方のダンケルク Dunkerque に初めて寄港し、13日まで滞在します。ダンケルクを出発した船団は、北海を越えてイギリス・スコットランド北東部の都市・アバディーンへ向かい、その後ノルウェーのクリスチャンサンを経由してデンマークのエスビャウでフィナーレを迎えます。トールシップレースは、若者向け帆船訓練プログラムを提供する国際的な非営利団体 Sail Training International によって毎年開催され、世界中から船が集まり、競技レースに参加するとともに、沿岸の祭りやお祝いを楽しむイベントです。これらのイベントは若者を中心に企画されており、華やかな催しが寄港地を盛り上げます。



スポーツイベント

ツール・ド・フランス2025はフランス北部のリールで開幕
オー・ド・フランス地方
2025年7月5日

2025年の**ツール・ド・フランス**はリール Lille からスタートします。2020年以降、フランス国内でのグラン・デパール（ツール・ド・フランスの開幕）は初めてとなり、オー・ド・フランス地域全体、ノール県 Nord、そしてリール欧州都市圏 Métropole européenne de Lille (MEL) にスポットライトが当たります。

7月5日の最初のステージのルートはリールをぐるりと一周します。次に、パ・ド・カレ県 Pas-de-Calais へと舞台を移し、ロウィン・プランク Lauwin-Planque からブローニュ・シュル・メール Boulogne-sur-Mer まで東から西へ横断します。その後、34年ぶりにツール・ド・フランスのルートに復帰するヴァランシエンヌ Valenciennes を出発します。2001年にグラン・デパールを迎えたダンケルク Dunkerque では、第3ステージのゴールを迎えます。最後に、アミアン Amiens でのスタートは、ツールが新たなステージへと進む前に、オー・ド・フランス地方の住民に感謝を表す重要な場面となります。

ツール・ド・フランス・ファミ・アヴェック・ズイフト 2025
グラン・デパールはヴァンヌ
ブルターニュ地方
2025年7月26日

ツール・ド・フランス・ファミ・アヴェック・ズイフト Tour de France Femmes avec Zwift の第4回大会がブルターニュ地方でスタートします。初日のステージはモルビアン県 Morbihan の中心地で、ヴァンヌ Vannes からプリュムレック Plumelec までのルートが設定されており、第2ステージは隣接するフィニステール県 Finistère で、ブレスト Brest からカンペール Quimper 間で行われます。豊かなサイクリング文化が根付くこの地域を讃えるために選ばれた初の開催地となります。さらに、2025年大会では初めて9日間にわたって争われることとなり、大会の歴史においても大きな節目となります。



© ADOBESTOCK-PRODUCTION PERIG

BWFバドミントン世界選手権2025
イル・ド・フランス パリ
2025年8月25日～31日まで

フランスバドミントン連盟主催による**BWFバドミントン世界選手権 TotalEnergies BWF World Championships 2025** が2025年8月下旬にパリで開催されます。会場は、2024年パリオリンピックのバドミントン競技が行われたアディダス・アリーナ Adidas Arena (ポルト・ド・ラ・シャペル・アリーナ Arena Porte de la Chapelle) です。50か国以上から集まる350名以上の選手たちが、5つの世界チャンピオンの座をかけて熱戦を繰り広げます。7日間にわたる大会期間中、約40,000人の観客が来場すると見込まれています。パリが開催地として選ばれたのは、2018年11月でした。

▶ [BWFバドミントン世界選手権](#)



持続可能な観光



オッコー・ホテルズ、環境認証を取得した新ホテルをオープン
グラン・テスト地方 トロワ
2025年

フランスで15軒目となる**オッコー・ホテル Okko hotel**が、シャンパーニュ地方の歴史ある中世都市トロワ Troyes の鉄道駅向かいに 2025年開業予定です。このホテルは7階建てで、106室の客室、3つの会議室、フィットネスエリアを備え、緑豊かな屋外スペースが充実しています。特に注目すべきは、同ホテルがBREEAM認証を取得することです。BREEAM認証は、カーボンニュートラルの実現、建物のライフサイクル全体における性能向上、健康と社会的影響の管理、循環性、レジリエンス、生物多様性の向上を支援する基準です。このホテルは、Vinci Immobilier社により2025年に提供される予定です。

標高1,900mのエコレストラン L'Art des Mets
オープン

オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方
ヴァル・ディゼール
2025年夏

標高1,900mに位置するエコレストラン「**ラル・デ・メ L'Art des Mets**」が2025年夏、ヴァル・ディゼール Val-d'Isère、自然豊かなル・マンシェ渓谷 Vallée du Manchet にオープンします。カロリーヌとエマニュエル夫妻が手がけるこのレストランは、環境に配慮した運営を大切にしており、自家栽培の食材や、サヴォワ Savoie、イゼール Isère、オート・アルプ Hautes-Alpes 産の地域食材を主に使っています。すべての廃棄物は分別・リサイクルされ、野菜の皮は近くの農場で家畜の餌に活用されるなど、サステナブルな取り組みを行っています。建物もエネルギー効率を高めるように改装されており、2025年夏にはハーブや野菜を栽培できる温室も設置予定です。

レストランは、ハイキングやノルディックスキーのトレイル沿い、ル・マンシェ渓谷やカラブルダヌ川 Ruisseau de la Calabourdane のそばに位置しており、昼はランチやティータイムに営業し、ディナーは予約制でモンゴル風の移動式住居・ユルトでの特別な食事も楽しめます。

プライベート空間のあるコリビング施設がモンペリエにオープン
オクシタニー地方 モンペリエ
2025年3月

ビキューブ・モンペリエ Bikube Montpellier は、南仏の陽光あふれる都市モンペリエで新しい賃貸・生活スタイルを提供します。各部屋は月単位で賃貸可能な完全プライベートの家具付きアパートで、キッチン、ダイニングエリア、高品質のベッド、シャワールーム、巧みな収納スペース、Chromecastシステム付きのテレビを備えています。生活空間やサービスは近隣住民と共有し、日常生活を簡便にするようデザインされています。

Bikubeは「蜂の巣」を意味しますが、その名の通り、このレジデンスはまるで蜂の巣のように多様な機能を持って24時間活気づいています。レストラン、コワーキングスペース、敷地内の中央に広がる美しい庭園、そして屋上の共同菜園があります。通りには電気自動車の充電ステーションが設置されており、すべての施設が徒歩や公共交通機関でアクセスしやすい位置にあります。



山でウィンタースポーツを満喫

フランスの山々では、スキーをはじめとするウィンタースポーツが楽しめるシーズンが幕を開けようとしています。誰もがアクセスしやすい環境、より環境に配慮したリゾート、そして多彩な宿泊施設が揃っています。また、スキースクール ESF (L'École du ski français フランス国立スキー学校) は2025年に創立80周年を迎えます。

ヴァル・ディゼール Val d'Isère のスキーエリアでは、環境に配慮した新しいゴンドラ「ヴァロン Vallon」が登場し、クールシュヴェル Courchevel では、定員120名のケーブルカー「ソリール Saulire」が2024年12月に再開予定です。ファミリー向けのトロン・レ・メミーズ Thollon-les-Mémises は、80カ所の加盟施設が使い放題になる年間パスポート「マジックパス」に加わりました。スキー以外のアクティビティの種類はますます増加しています。ペイゼ・ヴァランドリ Peisey-Vallandry で氷瀑を登り、ラ・プラーニュ La Plagne でボブスレーコースを体験、ダン・ド・クロル Dent de Crolles では洞窟探検に挑戦、レ・ドゥ・アルプ Les 2 Alpes ではシャモア（カモシカ）観察のスノーシュー・ハイクが楽しめます。ヴァル・ダルリー Val d'Arly で地元の薬草を使ったワークショップに参加したり、ラ・クリュザ La Clusaz で森のティピーテントに宿泊して冒険心をくすぐる体験をしたり、ル・グラン・ボルナン Le Grand Bornand で農場訪問を楽しむこともできます。

山岳地帯では、身体的・知的障害を持つ方や、社会的に恵まれない環境にある方にも対応したリフトやアクティビティがますます充実しています。今シーズン新たに加わった宿泊施設には、ブリッド・レ・バン Brides-les-Bains に位置するヴィラ・パルクのレジデンス・メリ・ベルコンブ Résidence Méri-Bellecombe、メリベル Méribel にある高級ホテルのフルール・デ・ザルプ Fleur des Alpes、ヴィラルール・ド・ラン Villard-de-Lans の温かみあるB&Bが含まれます。また、フランス・モンターニュは2023年に「モンターニュ・ゼロ・デシェ・ソヴァージュ」憲章に署名し、2030年までにフランスの山岳地帯からゴミをなくすことを目指しています。また、29のスキーリゾートが持続可能な環境保護への取り組みとして、現在「フロコン・ヴェール Flocon Vert」ラベルを取得しています。

▶ [フランス・モンターニュ 2024/25 冬季プレス資料](#)



© C. CATTIN / OT VAL THORENS
© PIERRE MOREL



フランスの山々への鉄道旅行のための「レイルスキー」プレスキット

フランス全土の山岳地帯の観光プロモーションを担うフランス・モンターニュ France Montagnes とフランス観光開発機構、鉄道によるスキー場へのアクセスを推進するスノーカーボン Snowcarbon が協力し、フランスの山岳リゾートへの鉄道旅行に関する Rail Ski レイルスキー専用プレスキットを作成しました。このキットには、さまざまな鉄道オプションの紹介や、スケジュール例、予約開始時期、駅からリゾートまでの移動手段の情報が含まれています。また、独自の「レイルスキー」マップでは、ロンドンと各リゾート間の鉄道路線網が示されており、旅の計画に役立ちます。



ホテルおよび宿泊施設

5つ星ホテル メゾンアルバルホテルズ -
ル・ヴィクトリアがオープン
プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方
ニース
2024年末

メゾンアルバルホテルズ Maison Albar Hotels はニースに新しいホテルル・ヴィクトリア Le Victoria をオープンします。この名前はアルバル家の5代目にちなんでいます。プロムナード・デ・ザングレ Promenade des Anglais とマセナ広場 Place Masséna の間、旧市街に近い **ル・ヴィクトリア Le Victoria** は、102室の客室と30室のスイートを備え、アンジュ湾 Baie des Anges とニース内陸部の素晴らしい景色を一望できます。

まるで停泊しているクルーズ船のようにデザインされたこのホテルは、650㎡のスパ、最先端のフィットネスエリア、屋上にはレストラン、バー、プールを備え、見渡す限り紺碧の海。一階には高級ブティックが軒を連ねます。



マイナー・ホテル パリに4つ星ホテル3軒オープン
イル・ド・フランス パリ
2024年～2025年

マイナー・ホテルズ Minor Hotels は、初めてパリに進出し、4つ星ホテル3軒の追加を発表しました。同グループは2024年第1四半期に、「NH パリ・ガール・ド・レスト NH Paris Gare de l'Est」(207室)、「NH オペラ・パリ・フォーブル NH Opéra Paris Faubourg」(103室)、そして「NH パリ・シャンゼリゼ NH Paris Champs Elysées」(90室) の3軒のNHホテルをオープンしました。そのうち「NH パリ・シャンゼリゼ」は改装を経て、2025年に「NH コレクション NH Collection」としてオープンする予定です。これらパリの3つのホテルは、マルセイユ、リヨン、トゥールーズ、ニースにある既存の6軒のフランス国内ホテルの仲間入りを果たします。

アルフレッド・ホテルズ、フランスで4軒の新ホテルをオープン予定
フランス各地
2025年

アルフレッド・ホテルズ Alfred Hotels は、コンピエーニュ Compiègne とピアリッツ Biarritz で運営中の3軒のホテルに加えて、2025年にフランス各地で4軒の新しいホテルをオープンする予定です。新しい開業地は、ブルゴーニュ地方のボーヌ Beaune、モナコ、パリ東部、そしてトゥールーズです。それぞれのホテルは周囲の環境に調和し、地元の文化や素材から着想を得た自然でミニマルなデザインを施し、既存の建物を丁寧に改修して作られています。同グループは、フランスの活気ある都市中心部に徒歩でアクセスできるホテルを20軒展開することを目指しています。

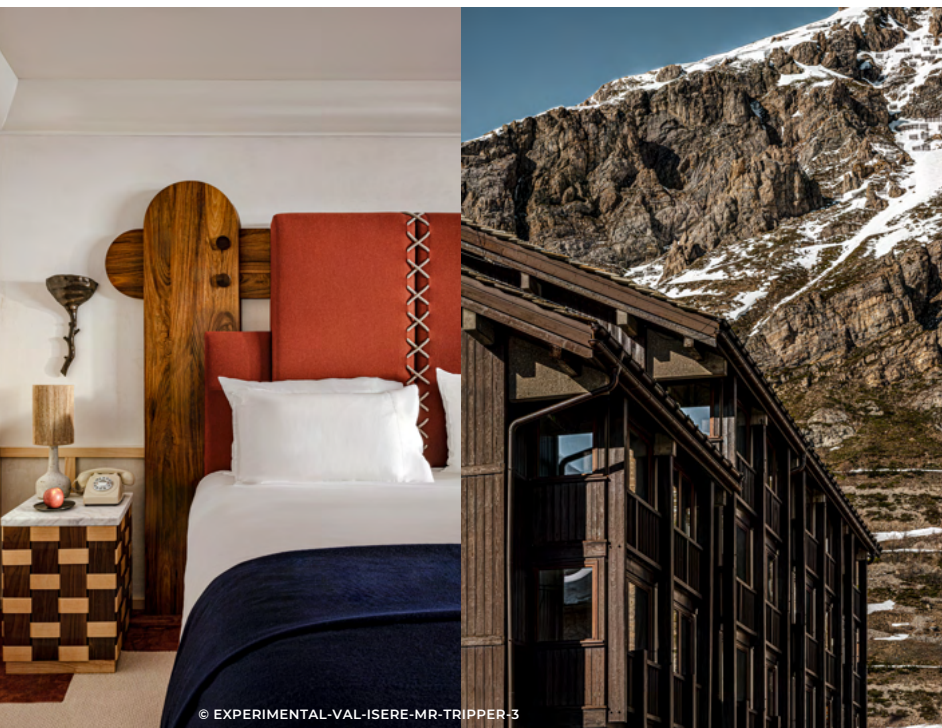
マリオット、フランスで10軒の新規ホテルを
オープンし事業規模を拡大
フランス全域
2024年～2025年

マリオット・インターナショナル は、2025年末までにフランス国内に1,000室以上の客室を持つ10軒の新しいホテルをオープン予定です。この新たな展開には、2024年に開業予定のモキシ・アヌシー Moxy Annecy とモキシ・パリ・クラマール Moxy Paris Clamart、さらに2025年末にはモキシ・ニース Moxy Nice が登場予定です。そのほか、レジデンス・イン・バイ・マリオット・リール Residence Inn by Marriott Lille、コートヤード・バイ・マリオット・リヨン・イースト Courtyard by Marriott Lyon East、そしてディジョン市内の歴史的建物である旧郵便局を改修したアロフト・ディジョン Aloft Dijon のオープンが2025年末までに予定されています。

マリオットは、すでに高級ホテル部門で1軒の歴史的建物改修を行い、1604年創建の修道院を改装した5つ星ホテル **オテル・デュ・クーヴォン Hôtel du Couvent** を2024年夏にニースでオープンしました。また、プレミアムセクターでは、マリオットはミュージック・トリビュート・ポートフォリオ・ホテルを追加予定です。同社は現在、パリ、ニース、カンヌ、リヨン、ストラスブール、マルセイユ、ランス、リール、ボルドー、トゥールーズなど29のフランスの都市で69軒のホテルを展開しています。



ホテルと宿泊施設



© EXPERIMENTAL-VAL-ISERE-MR-TRIPPER-3

レーグル・デ・ネージュはエクスペリメンタル・シャレー・ヴァル・ディゼールにオーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方ヴァル・ディゼール
2024年末

レーグル・デ・ネージュ L'Aigle des Neiges は、ヨーロッパで高級ホテルやレストラン、バーを運営するエクスペリメンタル・グループ Experimental Group の一員となり、現在は **エクスペリメンタル・シャレー・ヴァル・ディゼール Experimental Chalet Val d'Isère** となっています。ヴァノワーズ山塊を見渡すこのホテルは、壮大な冬の隠れ家として新たに生まれ変わり、フレンチアルプスの中心で特別なひとときを提供します。113室の客室、2つのレストラン、バー、スパ、さまざまな会議スペースが備わっています。各部屋は、充実した一日を終えた後に安らげる場所で、サヴォワ地方の風情や森のエッセンスが感じられるユニークなデザインが施されています。スキーをモチーフにしたクリーム色のブークレ織りのテキスタイルや白い大理石、高級感のある木のディテールが空間に調和をもたらしています。

4つ星ホテル ア・マンドリア
オープン予定
コルシカ島
ドメヌ・ドウ・ミュルトリ
2025年6月

アットホームな雰囲気このラグジュアリーホテルは、コルシカ島の **ドメヌ・ドウ・ミュルトリ Domaine de Murtoli** に位置し、カニャ山を望む素晴らしいロケーションにあります。宿泊施設は、5室のスイート（内3室にはプライベートプールが付き）と、5つの高級客室で成り立っています。広々としたメインプールがあり、オリーブの木陰のテラスではイタリア風の豊かな料理が提供され、周囲にはイチジクや柑橘類の木があります。また、ア・マンドリアのゲストは、ミュルトリのビーチへの専用アクセスや、その他のレストランやサービスも利用することができます。

▶ [ドメヌ・ドウ・ミュルトリ](#)

オトカー・コレクション
ヴィラ・ラ・ゲティエールをオープン
プロヴァンス・アルプ・コートダジュール
カップ・ダンティエーブ
2025年

オテル・デュ・カップ・エデン・ロック Hotel du Cap-Eden-Roc の近くに位置する **ヴィラ・ラ・ゲティエール Villa La Guettière** は、6,500㎡の敷地に広がり、2階建てで9つのスイートベッドルームを備え、一部には専用のテラスもあります。壮大なプールは地中海を一望でき、プールハウスにはラウンジ、ダイニングルーム、ジムが完備されています。広大でありながらも落ち着いた空間を提供し、現代的な快適さが整っています。専任のバトラーや家政婦、配慮されたセキュリティ体制、そして卓越したプライベートシェフによる細やかなサービスが行き届いています。ヴィラは、メインの邸宅と、プライベート感のある別棟から構成されています。

▶ [ヴィラ・ラ・ゲティエール](#)

5つ星ホテル ケンピンスキー
コート・ダジュールにオープン
プロヴァンス・アルプ・コートダジュール
カップ・ダイユ
2025年

不動産グループ フォンディモ Fondimmo は、2025年 カップ・ダイユ Cap d'Ail にラグジュアリーな大型ホテル「**ケンピンスキー Kempinski**」をオープンすることを発表しました。このホテルは、建築家夫婦マッシミリアーノ・フクサスとドリアーナ・フクサスの設計によるもので、モナコの門前に位置する12,000㎡の敷地に建設されます。ホテルには130室の客室とスイートがあり、バーやレストラン（そのうちの1つは高級ダイニング）も完備。また、壮大なインフィニティプールからは広大な海の景色を楽しめ、大規模なスパ施設も完備されています。ビジネス旅行者向けには、さまざまな会議室やレセプションルームが揃ったイベントスペースも用意されています。

▶ [ケンピンスキー](#)



交通運輸

97%リサイクル可能なTGV M、2025年後半に運行開始予定

フランス国鉄SNCFが注文した第5世代の高速列車 テー・ジェー・ヴェーエム TGV M は、2025年後半にパリとリヨンを結ぶ路線で運行を開始する予定です。この列車は、空気力学が改善され、乗客数に応じて車内の電力使用を調整できる仕様となっており、最大乗客数は740人（現行モデルは634人）に増加しています。現在のモデルと比較して、TGV Mはエネルギー消費が20%削減され、カーボンフットプリントも37%減少する見込みです。新しいTGVの外観と車内は、グレーと白を基調にした明るいパレットで、重ねられた丸みを帯びた形状が特徴で、現行のTGV Inouiの快適な旅行体験を彷彿とさせます。明るい色調は、太陽光による熱の増加を抑え、強い日差しの下での車内空調に必要なエネルギーを削減する効果もあります。また、外装はビニールではなく、塗装によって仕上げられており、耐久性が高く、改装作業の時間も短縮されます。



NICOLAS ROCHETTE - STOCK.ADOBE.COM



©ADOBESTOCK-CHRIS CHAMBERS

パリ市内のメトロおよびRER 2.50ユーロの片道乗車券が導入予定 イル・ド・フランス パリ 2025年1月2日～

2025年1月2日より、パリの地下鉄やRER（パリ中心部と郊外を結ぶローカル列車）、およびトランジリアン Transilien（近郊都市への地域列車）で、公共交通機関の乗車券がシンプルになり、料金も変更されます。新しいシングルチケットは、行き先に関係なくすべて€2.50の一律料金となり、現在の地下鉄の料金（€2.15）は35サンチームの値上げとなりますが、RERやトランジリアンの料金は多くの区間で安くなり、現在最大で€5の区間が安くなります。また、パリのバスやトラムの単独乗車券は、事前に購入すれば€2に値下げされます。従来のカルネ Carnet（10回綴りのチケット）は廃止され、パリの主要な2つの空港（シャルル・ド・ゴール空港、オルリー空港）への定額料金も新たに導入される予定です。

Explore France™ 